

## 第5章 各分野共通に設定した項目

### 1 日ごろの悩みと相談

#### (1) 困った時の身近な相談相手（市民調査：問14，高齢者調査：問11）

あなたが、日常生活の中で困ったとき、主に相談できる相手は次のうちどなたですか。  
（1つに○）

困った時の身近な相談相手は、市民、高齢者とも最も多いのが「同居の家族」、次いで「別居の家族」、「友人・知人」と上位3位の項目は共通しているが、「同居の家族」が市民では63.2%、高齢者では54.3%とその割合に差が見られる。

「困っていることはない」との回答は、市民は1.8%であるが、高齢者は8.2%と高齢者の方が多い。

図表 5-1 困った時の身近な相談相手（全体）【市民調査，高齢者調査】

(%)

	同居の家族	別居の家族や親戚	自治会や近所の人	友人・知人	その他	ない	身近な相談相手はい	困っていることはない	無回答
市民調査 (N=836)	63.2	16.4	0.2	12.1	1.3	3.5	1.8	1.6	
高齢者調査 (N=1,459)	54.3	22.1	0.4	4.6	1.0	4.2	8.2	5.2	

II アンケート調査の結果

(2) 身近な相談相手で解決できない場合の専門的な相談先

(市民調査：問 15, 高齢者調査：問 12)

あなたは、身近な方に相談しても困りごとが解決しなかったとき、次のようなところに相談したことがありますか。(いくつでも○)

身近な相談相手で解決できない場合の専門的な相談先は、市民は「市役所 (16.7%)」、「かかりつけ医や保健師など医療関係者 (12.4%)」の順が多いが、高齢者では「かかりつけ医や保健師など医療関係者 (13.6%)」、「市役所 (12.7%)」となっている。

「相談できる人(機関)はいない」が市民は10.6%、高齢者は4.6%と、市民は高齢者と比べると相談できる相手がいない人が多くなっている。

図表 5-2 身近な相談相手で解決できない場合の専門的な相談先 (全体：複数回答)

【市民調査, 高齢者調査】

(%)

	民生委員・児童委員	市役所	社会福祉協議会	社調布ゆうあい福祉公	地域包括支援セン	NPO団体	ボランティア	業者	ケアパーマネジの民・事	かかりつけ医や保健師	その他	相談できない人(機関)	かかりつたことが解決しない	困っていることはな	無回答
市民調査 (N=836)	1.1	16.7	1.8	1.2	2.4	0.6	0.2	3.8	12.4	4.7	10.6	19.9	30.5	6.2	
高齢者調査 (N=1,459)	1.5	12.7	1.6	2.9	5.8	-	0.1	7.1	13.6	2.7	4.8	9.3	42.6	9.9	

## 2 近所づきあいの状況

### (1) 近所づきあいの状況

(市民調査：問9，高齢者調査：問25，障害者調査（18歳以上）：問15，  
障害者調査（18歳未満）：問12)

あなたは、日ごろどのような近所づきあいをしていますか（1つに○）

近所づきあいの状況は、高齢者では「立ち話をする程度のつきあいをしている（40.8%）」が最も多く、高齢者の近所づきあいが活発である様子がうかがえる。

「近所づきあいをしていない」との回答を見ると、障害者18歳以上（知的障害）（35.3%）と障害者18歳以上（精神障害）（32.5%）は他の調査に比べ、目立って多くなっている。

図表 5-3 近所づきあいの状況（全体）

【市民調査，高齢者調査，障害者調査（18歳以上），障害者調査（18歳未満）】

(%)

		あど家	つ立	るのあ	いな近	無
		い，を	きち	つあ	い所	回
		を親	きあ	きさ	いづ	答
		しし	いを	あつ	きあ	
		てく	をす	いを	あ	
		い近	する	をす	い	
		る所	し程	する	を	
		づな	て度	し程	し	
		き	い度	て程	を	
			るの	い度	し	
市民調査	(N=836)	8.5	22.0	51.8	17.2	0.5
高齢者調査	(N=1,459)	13.6	40.8	33.7	10.1	1.9
18障 害者 以上	身体障害 (N=617)	13.1	28.8	40.4	12.5	5.2
	知的障害 (N=156)	4.5	7.7	46.8	35.3	5.8
	精神障害 (N=166)	3.0	8.4	55.4	32.5	0.6
障害者18歳未満	(N=91)	11.0	34.1	50.5	4.4	0.0

(2) 近所づきあいをしない理由（市民調査：問9-1，高齢者調査：問25-1）

近所づきあいをしたくないと答えた方におたずねします。  
 近所づきあいをしていない主な理由は何ですか。（いくつでも○）

近所づきあいをしていない人の近所づきあいをしない理由は、市民、高齢者とも「普段つきあう機会がないから」が最も多いが、市民は75.0%と圧倒的に多くなっている。「仕事や学業、家事・育児などで忙しく時間がない」との回答は、市民は31.3%、高齢者は6.8%と、近所づきあいをしない理由はライフスタイルと関係している様子が見えてくる。

図表 5-4 近所づきあいをしない理由（全体：複数回答）

【市民調査，高齢者調査】＜近所づきあいをしていない人＞

(%)

	間育仕 が児事 ないや いど学 かで業 ら忙し く事 時・	な引 いっ か越 らし てき て間 も	な普 い段 かっ から きあ う機 会が	い同 ない世 い代 かの 人が 近く に	かう ら人の が合 近う く人 に・ い話 ない い合	ちあ たま くり なか いか わり をも	そ の 他	無 回 答
市民調査 (n=144)	31.3	16.7	75.0	9.0	12.5	20.1	2.8	0.0
高齢者調査 (n=148)	6.8	16.9	45.9	10.1	23.0	20.3	20.9	2.0

### 3 災害時の対応

#### (1) 緊急時に一人で避難すること

(高齢者調査：問 32, 障害者調査 (18 歳以上)：問 19,  
障害者調査 (18 歳未満)：問 16)

(高齢調査, 障害者 18 歳以上調査)  
あなたは、災害や火災などの緊急時に、一人で避難することができますか。(1つに○)  
(障害者調査 (18 歳未満))  
あなたは、災害や火災などの緊急時に、避難することができますか。(1つに○)

緊急時に一人で避難することについては、「一人で判断し、避難できる」との回答は高齢者 (74.1%) と障害者 18 歳以上 (精神障害) (66.9%) が多数を占め、障害者 18 歳以上 (身体障害) (50.2%) もほぼ半数となっている。障害者 18 歳以上 (知的障害) は「一人では判断できないし、避難もできない」が 50.0% との回答である。

図表 5-5 緊急時に一人で避難すること (全体)

【高齢者調査, 障害者調査 (18 歳以上), 障害者調査 (18 歳未満)】 (%)

		で一人 判断し、 避難	が一人 で 避難 判断 でき ない	いい 一人 で 避難 判断 でき ない	無 回 答
高齢者調査 (N=1,459)		74.1	13.2	7.5	5.2
18歳 以上 障害 者	身体障害 (N=617)	50.2	27.7	13.6	8.4
	知的障害 (N=156)	25.6	19.2	50.0	5.1
	精神障害 (N=166)	66.9	15.1	14.5	3.6
障害者18歳未満 (N=91)		75.8	18.7	2.2	3.3

(2) 手助けを頼める相手がいるか

(高齢者調査：問 32, 障害者調査 (18 歳以上)：問 19,  
障害者調査 (18 歳未満)：問 16)

災害や火災など緊急時に避難する際に、手助けを頼める人はいますか。(1つに○)

緊急時に「一人で判断できるが、避難はできない」と「一人では判断できないし、避難もできない」との回答者に手助けを頼める相手がいるかを聞いたところ、「いない」が高齢者は 25.8%、障害者 18 歳以上 (精神障害) は 26.5%となっている。

図表 5-6 手助けを頼める相手がいるか (全体)

【高齢者調査, 障害者調査 (18 歳以上), 障害者調査 (18 歳未満)】

<一人で避難できない人>

(%)

		い る	い な い	分 か ら な い	無 回 答
高齢者調査 (n=302)		56.6	25.8	15.2	2.3
18障 害 者 上	身体障害 (n=255)	83.5	10.6	3.9	2.0
	知的障害 (n=108)	88.9	4.6	4.6	1.9
	精神障害 (n= 49)	61.2	26.5	10.2	2.0
障害者18歳未満 (n=19)		68.4	10.5	21.1	0.0

(3) 災害時に地域のためにできること（市民調査：問21，高齢者調査：問35）

あなたは、災害時に手助けが必要な地域の方に対してできることはありますか。  
（いくつでも○）

災害時に地域のためにできることは、市民は「避難所での支援活動（食糧・日用品の運搬等や炊き出しの手伝い）（62.4%）」が最も多いが、高齢者では「ひとり暮らし高齢者や手助けの必要な方への声掛け（39.1%）」が最も多くなっている。また、「特にできることはない」との回答は市民（17.7%）に比べ高齢者（31.5%）は13.8ポイント上回っている。

図表 5-7 災害時に地域のためにできること（全体：複数回答）

【市民調査，高齢者調査】

(%)

	き糧避 出・難 し日所 の用で 手品の支 伝の援活 い運搬動 ～等や 炊食	け助ひ けと のり 必暮 要ら なし高 方齡 へ者 の声 掛や 手	助子 けど もの いる 家族 への 手	けが 人の 手当 て	水や 食糧 の提 供	特に でき るこ とは ない	そ の 他	無 回 答
市民調査 (N=836)	62.4	42.9	37.0	15.3	12.3	17.7	4.3	1.6
高齢者調査 (N=1,459)	34.9	39.1	16.5	8.0	14.9	31.5	3.4	9.4





## 4 地域福祉活動の取組状況

### (1) 興味ある地域活動・ボランティア活動（市民調査：問 22，高齢者調査：問 26）

次のような地域活動・ボランティア活動等について、あなたが興味のある活動はありますか。  
（いくつでも○）

興味ある地域活動・ボランティア活動は、市民は「災害時に救援・支援をする活動（31.7%）」、「子育て世帯の支援・青少年の健やかな成長のための活動（26.6%）」が上位であるのに対し、高齢者では「地域の環境美化，環境保全・自然保護などの活動（13.9%）」や「ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯，介護が必要な高齢者を支援する活動（13.4%）」、「自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動（13.4%）」が上位である。

「特に興味のある活動はない」は、高齢者（38.9%）は市民（26.7%）を12.2ポイント上回っている。

図表 5-9 興味ある地域活動・ボランティア活動（全体：複数回答）

**【市民調査，高齢者調査】**

(%)

	健 子 育 か て な 世 帯 長 の 支 援 め の 青 少 年 の	子 育 か て な 世 帯 長 の 支 援 め の 青 少 年 の	の み の 支 援 す る 活 動 が 必 要 な 高 齢 者	ひ と り 暮 ら し 高 齢 者 や 高 齢 者	気 障 害 の 支 援 す る 活 動 も や 病	地 域 の 伝 統 や 文 化 を 伝 え る 活 動	交 通 安 全 を 守 る 活 動 防 止 な ど 地 域	災 害 時 に 救 援 ・ 支 援 を す る 活 動	自 然 保 護 な ど の 活 動 環 境 保 全 ・	地 域 の 環 境 美 化 活 動 環 境 保 全 ・	自 治 会 な ど の 地 区 協 議 会 ・ 老 人 ク ラ ブ	そ の 他	特 に 興 味 の あ る 活 動 は な い	無 回 答
市民調査 (N=836)	26.6	20.6	17.0	20.0	17.0	31.7	22.5	7.3	2.0	26.7	1.8			
高齢者調査 (N=1,459)	7.7	13.4	5.8	10.1	10.4	12.3	13.9	13.4	4.3	38.9	11.8			

(2) 地域活動・ボランティア活動への取り組み状況

(市民調査：問 23，高齢者調査：問 27)

あなたは、実際に問 26 のような地域活動・ボランティア活動等に取り組んでいますか。  
(1つに○)

地域活動・ボランティア活動への取り組み状況は、市民、高齢者とも「取り組んだことはない」が最も多く、その割合は市民(72.0%)が高齢者(62.3%)を9.7ポイント上回っている。

図表 5-10 地域活動・ボランティア活動への取り組み状況(全体)【市民調査，高齢者調査】

	組現在で、 い続ける 継続的に 取り	とたが あに る、 取り 組むこ	とが あ どる しが り組 い現 ない はほ	以 前 取り 組 んだ こと はな	い 取 り 組 んだ こと はな	無 回 答
市民調査 (N=836)	3.6	6.2	16.7	72.0	1.4	
高齢者調査 (N=1,459)	9.4	3.6	13.9	62.3	10.8	

(3) 地域活動・ボランティア活動への取組意向

(市民調査：問 24，高齢者調査：問 28)

あなたは、今後、地域活動・ボランティア活動等に取り組んでいきたいと考えていますか。  
(1つに○)

地域活動・ボランティア活動への取組意向は、市民は「機会があれば、取り組んでもよい」が45.0%と最も多いが、高齢者は「取り組みたいが、できない(30.0%)」が最も多い。また、「あまり取り組みたくない」との回答は、高齢者(26.0%)が市民(16.5%)を9.5ポイント上回っている。

図表 5-11 地域活動・ボランティア活動への取組意向(全体)【市民調査，高齢者調査】

	で積 い極 き たに い、 取 り 組 ん	ん で 可 能 な た け い、 取 り 組	組 機 会 が あ ら ば 、 取 り	き 取 り 組 み た い が 、 で	な あ ま り 取 り 組 み た く	無 回 答
市民調査 (N=836)	2.4	8.6	45.0	24.2	16.5	3.3
高齢者調査 (N=1,459)	2.0	6.5	22.5	30.0	26.0	13.0

(4) 地域活動・ボランティア活動へ参加・活動しやすい条件

(市民調査：問 24-1, 高齢者調査：問 28-1)

地域活動・ボランティア活動に取り組みたい・取り組んでもよいと答えた方におたずねします。どのような条件であれば、参加・活動しやすいと思いますか。(いくつでも○)

今後、地域活動・ボランティア活動へ「積極的に取り組んでいきたい」「できるだけ、取り組んでいきたい」「機会があれば、取り組んでいきたい」との回答者に参加・活動しやすい条件を複数回答でたずねたところ、市民、高齢者とも「時間や期間にあまりしぼられないこと」、「身近なところで活動できること」が上位になっている。

「身体的な負担が少ないこと」については、高齢者(32.7%)が市民(21.6%)の回答を11.1ポイント上回っているが、他の条件はいずれも市民が高齢者を上回っている。

図表 5-12 地域活動・ボランティア活動へ参加・活動しやすい条件(全体：複数回答)

【市民調査, 高齢者調査】

<地域活動・ボランティア活動に取り組む意向のある人>

(%)

	る活 こ動 と情 報 の 提 供 が あ	て活 く動 れや る団 体 と を 紹 介 し	参友 加人 で等 きと こっ とよ に	し時 ば間 らや れ期 な間 いに こあ とまり	で身 き近 るな こと とこ ろ で 活 動	ダ適 ー切 がな いる 指 導 者 と や り ー	い身 こ体 と的 な 負 担 が 少 な	い金 こ銭 と的 な 負 担 が 少 な	そ の 他	分 か ら な い	無 回 答
市民調査 (n=468)	44.2	27.4	17.3	75.0	66.2	31.8	21.6	50.0	3.6	1.3	0.0
高齢者調査 (n=453)	32.5	14.8	17.0	61.8	58.1	25.8	32.7	37.7	2.0	0.9	0.9

## 5 地域のつながり

### (1) 地域のつながりの必要性

(市民調査：問 25, 高齢者調査：問 29, 障害者調査 (18 歳以上)：問 16,  
障害者調査 (18 歳未満)：問 13)

あなたは暮らしの中で、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合いなど）は必要だと思いますか。（1つに○）

地域のつながりの必要性は、いずれの調査も「どちらかといえば、必要だと思う」が最も多いが、市民（58.0%）が最も多い。

「どちらかといえば、必要ないと思う」と「必要ないと思う」を合わせると、障害者 18 歳以上（精神障害）のみ 23.5%と 20%を上回り、他に比べ多くなっている。

図表 5-13 地域のつながりの必要性（全体）

【市民調査， 高齢者調査， 障害者調査（18 歳以上）， 障害者調査（18 歳未満）】

(%)

		とても必要だと思う	どちらかと思う	どちらかといえ	必要ないと思う	無回答
市民調査 (N=836)		36.6	58.0	3.1	1.2	1.1
高齢者調査 (N=1,459)		32.7	51.8	6.4	2.7	6.4
18歳以上障害者	身体障害 (N=617)	35.2	50.2	5.7	3.2	5.7
	知的障害 (N=156)	34.0	48.1	5.8	6.4	5.8
	精神障害 (N=166)	28.3	48.2	15.7	7.8	0.0
障害者18歳未満 (N=91)		46.2	49.5	4.4	0.0	0.0

(2) 地域のつながりを感じる程度

(市民調査：問 26, 高齢者調査：問 30, 障害者調査 (18 歳以上)：問 17,  
障害者調査 (18 歳未満)：問 14)

あなたがお住まいの地域には、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合いなど）はあ  
ると感じますか。（1つに○）

地域のつながりを感じる程度は、障害者 18 歳以上（身体障害）と障害者 18 歳以上（知的障害）は「とても感じる」が 10%を上回って多くなっている。障害者 18 歳以上（精神障害）は「感じない（19.9%）」が他と比べ多く、「あまり感じない」と合わせると 60.9%となる。これは障害者 18 歳以上（身体障害）（40.5%）、障害者 18 歳以上（知的障害）（42.3%）と比べると 20 ポイント前後上回っている。

図表 5-14 地域のつながりを感じる程度（全体）

【市民調査, 高齢者調査, 障害者調査 (18 歳以上), 障害者調査 (18 歳未満)】

(%)

		とても感じる	少し感じる	あまり感じない	感じない	無回答
市民調査 (N=836)		7.2	40.1	40.0	11.8	1.0
高齢者調査 (N=1,459)		8.4	35.4	34.2	15.5	6.6
18歳以上 障害者	身体障害 (N=617)	15.9	37.8	28.2	12.3	5.8
	知的障害 (N=156)	12.8	39.7	26.3	16.0	5.1
	精神障害 (N=166)	7.8	31.3	41.0	19.9	0.0
障害者18歳未満 (N=91)		11.0	36.3	41.8	11.0	0.0

## 6 手助けへの意向

あなたは介護が必要になったときに、次のような手助けをしてほしいと思いますか。  
 ((1)～(8)それぞれ1つに○)

### (1) 安否確認の声かけ（市民調査：問 28(1)，高齢者調査：問 31(1)）

安否確認の声かけの手助けへの意向は、「してほしい」との回答は、高齢者（42.0%）が市民（29.5%）を10ポイント以上上回り、高齢者の手助けの意向がより明らかである。

図表 5-15 安否確認の声かけ（手助けへの意向）（全体）

**【市民調査， 高齢者調査】** （%）

		してほしい	こ し て が ほ し い と 思 っ た	してほしくない	無 回 答
市民調査 (N=836)		29.5	21.8	35.6	13.0
高齢者調査 (N=1,459)		42.0	15.1	13.3	29.6

### (2) ちょっとした買い物やゴミ出し（市民調査：問 28(2)，高齢者調査：問 31(2)）

ちょっとした買い物やゴミ出しの手助けへの意向は、市民は「してほしくない」が61.5%であるが、高齢者は「してほしい（27.0%）」が「してほしくない（21.7%）」を上回っている。

図表 5-16 ちょっとした買い物やゴミ出し（手助けへの意向）（全体）

**【市民調査， 高齢者調査】** （%）

		してほしい	こ し て が ほ し い と 思 っ た	してほしくない	無 回 答
市民調査 (N=836)		6.5	17.1	61.5	15.0
高齢者調査 (N=1,459)		27.0	18.2	21.7	33.2

(3) 食事や掃除・洗濯の手伝い（市民調査：問 28(3)，高齢者調査：問 31(3)）

食事や掃除・選択の手伝いへの手助けの意向は、市民は「してほしくない」が63.2%であるが、高齢者は「してほしい（27.5%）」が「してほしくない（23.8%）」を上回っている。

図表 5-17 食事や掃除・洗濯の手伝い（手助けへの意向）（全体）

【市民調査，高齢者調査】

(%)

	してほしい	ことがほしいと思っ た	してほしくない	無 回 答
市民調査 (N=836)	6.0	15.4	63.2	15.4
高齢者調査 (N=1,459)	27.5	15.8	23.8	33.0

(4) 通院の送迎や外出の手助け（市民調査：問 28(4)，高齢者調査：問 31(4)）

通院の送迎や外出の手助けへの意向は、市民は「してほしくない」が59.0%であるが、高齢者は「してほしい（32.2%）」が「してほしくない（19.4%）」を12.8ポイント上回っている。

図表 5-18 通院の送迎や外出の手助け（手助けへの意向）（全体）

【市民調査，高齢者調査】

(%)

	してほしい	ことがほしいと思っ た	してほしくない	無 回 答
市民調査 (N=836)	8.1	18.1	59.0	14.8
高齢者調査 (N=1,459)	32.2	15.6	19.4	32.8

(5) 子どもの預かり（市民調査：問 28(5)，高齢者調査：問 31(5)）

子どもの預かりの手助けへの意向は、市民は「してほしくない」が 46.3%であるが、「してほしい（12.7%）」と「してほしいと思ったことがある（23.3%）」を合わせると 36.0%となる。

図表 5-19 子どもの預かり（手助けへの意向）（全体）

【市民調査，高齢者調査】

(%)

	してほしい	してほしいと 思った ことがある	してほしくない	無回答
市民調査 (N=836)	12.7	23.3	46.3	17.7
高齢者調査 (N=1,459)	4.0	4.3	35.1	56.5

(6) 話し相手や相談相手（市民調査：問 28(6)，高齢者調査：問 31(6)）

話し相手や相談相手の手助けへの意向は、市民は「してほしくない」が 54.5%であるが、「してほしい」と「してほしいと思ったことがある」を合わせると市民は 29.9%，高齢者は 34.9%となっている。

図表 5-20 話し相手や相談相手（手助けへの意向）（全体）

【市民調査，高齢者調査】

(%)

	してほしい	してほしいと 思った ことがある	してほしくない	無回答
市民調査 (N=836)	7.1	22.8	54.5	15.6
高齢者調査 (N=1,459)	17.7	17.2	24.7	40.4



(7) 災害時避難の手助けの準備（市民調査：問 28(7)，高齢者調査：問 31(7)）

災害時避難の手助けの準備は、「してほしい」は高齢者（35.6%）が市民（19.4%）を上回っているが、「してほしいと思ったことがある」については市民（27.9%）が高齢者（18.8%）を上回り、市民も手助けへの意向が強いことが分かる。

図表 5-21 災害時避難の手助けの準備（手助けへの意向）（全体）

【市民調査，高齢者調査】

(%)

	してほしい	してほしい と 思った ことがある	してほしくない	無回答
市民調査 (N=836)	19.4	27.9	37.9	14.8
高齢者調査 (N=1,459)	35.6	18.8	12.1	33.6

(8) 具合がよくないときに病院等に連絡する

（市民調査：問 28(8)，高齢者調査：問 31(8)）

具合がよくないときに病院等に連絡する手助けへの意向は、「してほしい」は高齢者（37.7%）が市民（17.5%）を上回っているが、「してほしいと思ったことがある」については市民（26.0%）が高齢者（16.9%）を上回り、市民も手助けへの意向が強いことが分かる。

図表 5-22 具合がよくないときに病院等に連絡する（手助けへの意向）（全体）

【市民調査，高齢者調査】

(%)

	してほしい	してほしい と 思った ことがある	してほしくない	無回答
市民調査 (N=836)	17.5	26.0	42.3	14.2
高齢者調査 (N=1,459)	37.7	16.9	13.2	32.1

## 7 調布市の保健福祉施策

### (1) 市民全体が互いの人格と個性を尊重し合う地域社会の実現についての理解

(市民調査：問 29，高齢者調査：問 38，障害者調査（18 歳以上）：問 28，  
障害者調査（18 歳未満）：問 26)

調布市では、人々が高齢者や障害者への理解を深め、市民全体が互いの人格と個性を尊重しあう地域社会の実現を目指しています。このような「市民全体が互いの人格と個性を尊重しあう」という考え方について、あなた自身は理解していると思いますか。（1つに○）

市民全体が互いの人格と個性を尊重し合う地域社会の実現についての理解については、「理解している」「どちらかといえば理解している」の合計では市民（58.3%）と高齢者（57.5%）は、障害者18歳以上（身体障害）（48.8%）、障害者18歳以上（知的障害）（43.0%）、障害者18歳以上（精神障害）（45.2%）、障害者18歳未満（46.2%）を上回っている。

図表 5-23 市民全体が互いの人格と個性を尊重し合う地域社会の実現についての理解（全体）

【市民調査，高齢者調査，障害者調査（18 歳以上），障害者調査（18 歳未満）】

(%)

		理解している	るばど 、ち 理ら 解か しと てい いえ	なばど い、ち 理ら 解か しと てい いえ	理解していない	分からない	無回答
市民調査 (N=836)		14.4	43.9	17.8	8.9	12.6	2.5
高齢者調査 (N=1,459)		20.6	36.9	12.6	5.3	15.0	9.5
18障 歳害 以上	身体障害 (N=617)	11.2	37.6	15.6	5.3	21.1	9.2
	知的障害 (N=156)	10.9	32.1	19.9	7.1	23.7	6.4
	精神障害 (N=166)	13.9	31.3	18.7	11.4	20.5	4.2
障害者18歳未満 (N=91)		4.4	41.8	28.6	3.3	19.8	2.2

(2) 障害者虐待防止法の認知状況

(市民調査：問 32, 障害者調査 (18 歳以上)：問 24,  
障害者調査 (18 歳未満)：問 21)

あなたは、平成 24 年 10 月から「障害者虐待防止法」が施行されたことを、知っていましたか。(1つに○)

障害者虐待防止法の認知状況は、「知っていた」は障害者 18 歳未満 (42.9%) が他より多くなっている。市民は「知らなかった」が 83.4%となっている。

図表 5-24 障害者虐待防止法の認知状況 (全体)  
【市民調査, 障害者調査 (18 歳以上), 障害者調査 (18 歳未満)】 (%)

		知 っ て い た	知 ら な か っ た	無 回 答
市民調査 (N=836)		13.9	83.4	2.8
18障 歳害 以者 上	身体障害 (N=617)	19.6	70.2	10.2
	知的障害 (N=156)	26.3	66.7	7.1
	精神障害 (N=166)	12.0	84.9	3.0
障害者18歳未満 (N=91)		42.9	56.0	1.1

(3) 障害者虐待防止センターの認知状況

(市民調査：問 32-1, 障害者調査 (18 歳以上)：問 24-1,  
障害者調査 (18 歳未満)：問 21-1)

障害者虐待防止法を知っていたと答えた方にお聞きします。調布市では障害福祉課が「障害者虐待防止センター」として、障害者虐待の通報窓口となっていることを知っていましたか。  
(1つに〇)

障害者虐待防止法を「知っている」と回答した人に障害者虐待防止センターの認知状況をたずねたところ、障害者 18 歳以上 (知的障害) は「知っている (43.9%)」が他に比べ多く「知らなかった (56.1%)」が他より少ない。

図表 5-25 障害者虐待防止センターの認知状況 (全体)  
【市民調査, 障害者調査 (18 歳以上), 障害者調査 (18 歳未満)】  
＜障害者虐待防止法を知っていた人＞ (％)

		知 っ て い た	知 ら な か っ た	無 回 答
市民調査 (n=116)		19.8	80.2	0.0
18障 害者 以上	身体障害 (n=121)	34.7	63.6	1.7
	知的障害 (n=41)	43.9	56.1	0.0
	精神障害 (n=20)	35.0	65.0	0.0
障害者18歳未満 (n=39)		28.2	71.8	0.0